

『時事直言』 No.1457 2021年2月8日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t_masuda2019/

[instagram] t_masuda2019/

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] T_Masuda_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

「小冊子」Vol.120 内容大幅変更

トランプ政権からバイデン政権へと移行するにあたって、不正選挙や不当、偏向メディア問題など、戦後世界に民主主義を主導してきた本家本元のアメリカの民主主義とは見せかけだけで、実際は悪名高き独裁者が驚くほどの裏腹であったことが露見した。

アメリカの民主主義が偽物であったことを明らかにすることが必要だったのである。

「資本の意志」の名付け親の私にとってはトランプもバイデンも上手に踊らされている単なるピエロである。

アメリカそのものが「資本の意志」の目的達成のための道具に過ぎないことを知ってもらいたい。

ユダヤ資本がその一部である「資本の意志」が目指すは「One World」(世界統一国家)である。

19世紀は大英帝国にポンドを使って7つの海を支配させ、20世紀はアメリカにドルを使って世界を支配させ、そしていよいよ一国ではなく「新たな国際機関」でどこにも属さぬ通貨を使って世界統一を目指す段階になってきた。

「世界統一国家」の為にそろそろ「天皇の国」の出番がやってきたのである。

そこで今回の「小冊子」Vol.120は、予定を変更して「天皇の国日本」をしっかり認識して頂く事にした。

「明治維新」から第二次大戦で日本が敗戦するまでの間を除く二千有余年日本は「万世一系」の天皇の国であった。

明治から昭和の敗戦までの間、明治憲法により天皇は自らが任命すべき俗世の大日本帝国軍の総司令官に御身を落とされた為、日本と世界は天皇を失った。

本来の天皇なき時代の日本は戦争が絶えなかったが、広島・長崎の原爆という天罰で天皇が蘇ってからの日本は戦争皆無である。

トルーマンをして日本への原爆投下に動かしたのは本来の天皇を取り戻す必要があったユダヤ資本(資本の意志)である。

イギリスの王家と言えども俗世の王であり征夷大將軍(War Lord)であった。

天皇は俗世の征夷大將軍を任命してきた世界唯一の王である。

ユダヤ資本の理想はOne Worldであると同時に、その為にはなくてはならない世界唯一の天皇であるからどんなことがあっても日本の天皇は守らなくてはならないのである。

フィリピンに隠されていた「山下財宝」の一部である12トンの金塊は連合軍によって接収されたが合衆国でもFRB(ユダヤ資本)でもなく、増田塾で解説した通り日本の天皇の名前でFRB金保管所に保管されている。

1881年に松方正義第6代総理がロスチャイルドの指導の下に設立した日銀の株式は以来政府55%、ロスチャイルド30%、他はロスチャイルド系の三井銀行群が保有しているがロスチャイルドの持分は天皇名義になっている。

日本の戦国時代も今日も又将来においても俗世の支配には「誰も手も足も出せない存在」が無くてはならないのである。

これから世界で目まぐるしく色々なことが起きるが、我々は天皇の国の国民としてしばし下界の高みの見物と洒落込んで如何だろうか。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahooなどから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダU.S.リサーチジャパン株式会社(FAX:03-3956-1313)までお知らせ下さい。